



3. 環境目的・目標及び達成状況

環境保全を継続的に向上させるため、環境マネジメントシステムにより年度毎に環境目的・目標を定め、取り組んでいます。

2001年度の環境目的・目標及び達成状況は次の通りです。

2001年度 環境目的・目標及び達成状況		
環境目標	計画	達成状況
<p>電材調合工程から発生するクレゾール臭気の改善。</p> <p>電材課調合工程から排出されるクレゾールガスの総量規制を行う。</p> <p>(継続目標)</p>	<p>1. 有機溶剤を使用した洗浄工程の一部を、溶剤を使用しない工程へ改善する。又は外部へ委託する検討を進める。</p> <p>2. 排ガス処理装置の方式を検討し、平成14年度設備提案に向けた準備を完了する。</p>	<p>1. ワニス洗浄方式の検討を進めてきたが8月より巻線の生産を中止したため本計画も中止した。</p> <p>2. 排ガス処理方式の検討を進めてきたが8月より巻線の生産を中止したため本計画も中止した。</p>
<p>産業廃棄物の削減とリサイクルの促進。</p> <p>産業廃棄物の減少、再利用に取り組み廃棄量(埋立、焼却)の減少を図る。</p>	<p>1. 埋立廃棄物を焼却減量、リサイクルするための調査、検討を行い可能な限り実行する。</p> <p>2. P I 廃棄フィルムを再資源化するための調査、検討を行い可能になればサンプル提供まで実施する。</p>	<p>1. 分別、再資源化を図り、埋立廃棄物を79 ton 減少させた。</p> <p>2. P I 廃棄フィルムのセメント燃料化を進め、128 ton のサーマルリサイクル化を達成した。</p>
<p>環境保全意識の醸成の継続</p> <p>省エネルギーを通じた環境保全への貢献の体感及び工場周辺琵琶湖岸の清掃活動の実施。</p>	<p>1. 各部署で実施できる省エネルギー対策を計画的に、教育をマッチングさせて実行する。</p> <p>2. 工場周辺琵琶湖岸の清掃活動を年4回実施しゴミを回収する。</p>	<p>1. 各部署の目標に織り込み、各部署の節電、節水意識はかなり浸透してきた。又、食堂洗浄水の自動カット、焼却炉の廃止、窒素消費量の削減等設備的な対応も進んでいる。</p> <p>2. 年間スケジュール通り4回実施し、総動員数95名で640kg のゴミを回収した。</p>
<p>特定化学物質の管理強化と排出量の削減</p>	<p>1. 重点管理している有機溶剤を排出口、敷地境界、排水口で定期的に測定し現況を把握する。</p> <p>2. P R T R 対象物質の移動排出量調査を行い把握する。</p>	<p>1. 年2回の定期測定により排出口、敷地境界、排水口で問題のないことを確認した。</p> <p>2. 手順に従いP R T R を実施し現況を把握した。</p>